brother

ユーザーズガイド ネットワーク操作編

HL-2270DW

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 7 章「困ったときは（トラブル対処方法）」で調べる

2 サポート　ブラザー　検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル

オンラインユーザー登録をお勧めします。
https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version A JPN

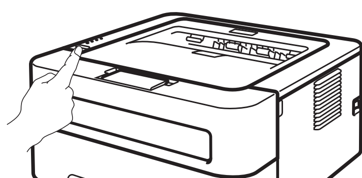
やりたいことがすぐ探せる! やりたいこと目次 3P

目　次

やりたいこと目次

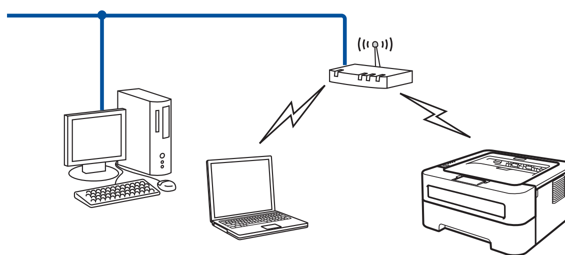
操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。

操作パネルのボタンを操作して、ネットワーク設定のリセットや無線 LAN の有効・無効の切り替えができます。
詳しくは⇒ 35 ページを参照してください。



無線 LAN を使う

LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。
詳しくは⇒ 14 ページを参照してください。



ウェブブラウザーを使って本製品を管理する。

標準のウェブブラウザーから本製品に HTTP を使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。
詳しくは⇒ 39 ページを参照してください。

BRAdmin Light を使って本製品を設定する。

付属のソフトウェア BRAdmin Light 使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。
詳しくは⇒ 9 ページを参照してください。

VCCI規格

本製品は、クラスＢ情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

無線LAN機器使用の際のご注意

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

補足

本製品の設置場所によって、最大70メートルまで届きます。最大の到達距離や通信速度は、設置する環境と使用する機器の種類により異なります。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式がDS-SS方式であることを表す。（IEEE802.11bのとき）
「OF」：変調方式がOFDM方式であることを表す。（IEEE802.11gのとき）
「4」　：想定される与干渉距離が40m以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について

本製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

本書の読みかた

章を示します。

インデックスです。
現在の章を黒色で示します。

大見出しです。

ネットワークの設定

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IPの設定をする必要があります。
この章では、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

中見出しです。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されている本製品の初期設定用ユーティリティソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.4.11 以降のコンピューターで利用できます。Windows®をご使用の場合は、本製品に付属のかんたん設置ガイドを参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。Macintosh をご使用の場合は、プリンタードライバーをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

補足項目です。

補足

- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows®版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

小見出しです。

BRAdmin Lightでの設定方法

注意していただく内容です。



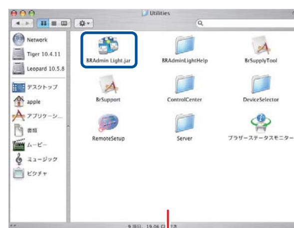
- ■BRAdmin Lightは付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内に収録されています。
- ■さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows® 版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。
- ■現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「プリンター設定一覧」を印刷します。
詳しくは⇒35ページを参照してください。

閲覧する内容を説明しているページを示します。

操作手順です。

1 Windows® は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択する
新しいデバイスを自動的に検索します。

Macintosh は、デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択する
BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。



操作手順を補足する手順画面やイラストです。

補足

Macintoshの場合BRAdmin Lightは、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。

9

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書の使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルを使用する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

本書の表記

本文中では、OS名称を略記しています。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。
Windows® XP Professional x64の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Editionの正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Server® 2008 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Windows® 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating systemです。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。（XXXはボタン名）

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。
© 2010 Brother Industries, Ltd.

はじめに

概要

本製品のネットワークインターフェイスを利用してLANまたはWANに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本製品で原稿の印刷ができます。
本書は、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

次の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Windows® XP Windows® XP Professional x64 Edition Windows Vista® Windows® 7	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 x64 Edition Windows Server® 2008 Windows Server® 2008 R2	Mac OS X 10.4.11以降
印刷	○	○	○
BRAdmin Light	○	○	○
BRAdmin Professional※1	○	○	
ウェブブラウザー	○	○	○
ステータスモニター※2	○	○	○
オートマチックドライバーインストーラー	○	○	
Vertical Pairing※3	○		

※1 BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてください。
※2 ステータスモニターについては、⇒ユーザーズガイドを参照してください。
※3 Windows® 7のみ（詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編を参照してください。）

特長と機能

セキュリティ機能

本製品は、最新のネットワークセキュリティと暗号化プロトコルに対応しています。詳しくは、⇒42ページ「セキュリティ機能」を参照してください。

1章

ネットワークの設定

概要

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IPの設定をする必要があります。
この章では、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

> 本製品をネットワークに接続するには、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用することをおすすめします。かんたん設置ガイドの手順に従ってプリンタードライバーのインストールを進めると、簡単に本製品をネットワークに接続することができます。

ネットワークを設定するには、次の方法があります。

操作パネルを使用する

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定のリセット、プリンター設定一覧の印刷、無線LANを有効、または無効にすることができます。詳しくは、⇒35ページを参照してください。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されている本製品の初期設定用ユーティリティソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.4.11 以降のコンピューターで利用できます。Windows®をご使用の場合は、本製品に付属のかんたん設置ガイドを参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。Macintosh をご使用の場合は、プリンタードライバーをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

補足

- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows®版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

BRAdmin Light（Windows®版）をインストールする

1 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする

2 [HL-2270DW] をクリックする

3 [その他のインストール] をクリックする



4 [BRAdmin Light] をクリックし、画面の指示に従ってインストールする



補足

アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Lightの「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的に無効にしてください。

BRAdmin Lightでの設定方法

注意

■BRAdmin Lightは付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内に収録されています。

■さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows® 版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。

■BRAdmin Lightを操作するコンピューターで、「ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Lightの「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォールを無効に設定してください。

■BRAdmin Lightで表示される本製品のお買い上げ時ノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

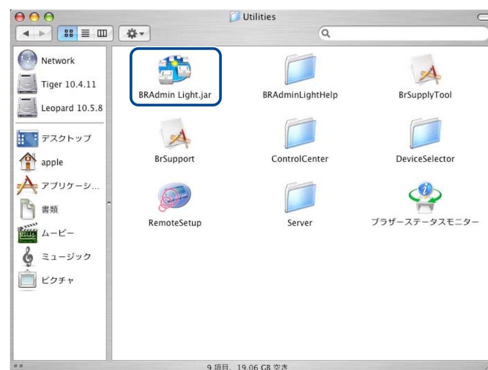
■本製品のお買い上げ時のパスワードは“access”です。

1 Windows® は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択する

新しいデバイスを自動的に検索します。

Macintosh は、デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択する

BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

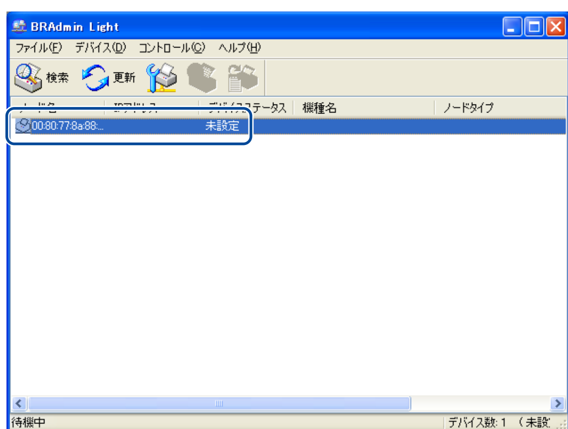


補足

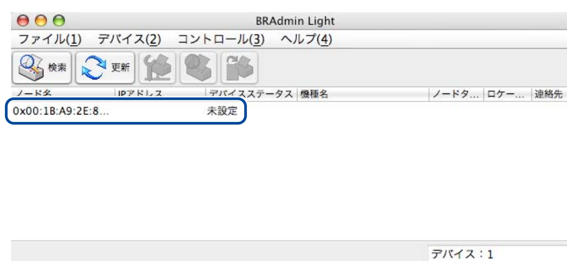
Macintoshの場合BRAdmin Lightは、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。

2 ［デバイスステータス］が「未設定」となっている本製品をダブルクリックする

Windows®



Macintosh



注意

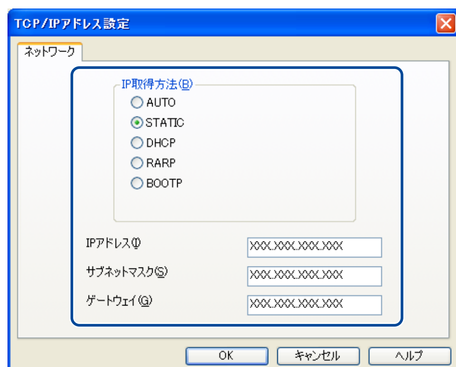
ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合やIPアドレスの自動設定機能によりIPアドレスが割り当て済みの場合には、デバイスステータスに「未設定」とは表示されません。
その場合は、設定を変更せずに本製品を利用することをおすすめします。

補足

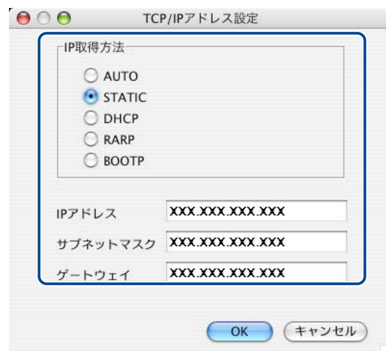
現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「プリンター設定一覧」を印刷します。
詳しくは⇒36ページを参照してください。
お買い上げ時のノード名は、“BRNxxxxxxxxxxxx”です。（「xxxxxxxxxxxx」は MAC アドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）
「未設定」と表示されていないデバイスに設定するときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。（お買い上げ時のパスワードは“access”です。）

3 「IP 取得方法」から［STATIC］を選択し、［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力する

Windows®



Macintosh



4 ［OK］をクリックする

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウインドーにノード名およびプリンター名が表示されます。

補足

BRAdmin Lightを使用せずにIPアドレスを設定するときは、DHCP、RARP、BOOTPを使ってIPアドレスを設定することができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編を参照してください。

その他の管理ユーティリティ

ウェブブラウザーを使用する

HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してネットワークに接続されている本製品の管理ができます。コンピューターにインストールされている標準ウェブブラウザーを使用して、ネットワーク上の本製品のステータス情報を取得し、本製品およびネットワーク設定を変更することができます。
詳しくは⇒39ページを参照してください。

BRAdmin Professionalを使用する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalは、ネットワークに接続されている本製品の管理をするためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品を検索し、ウインドー上でデバイスの状態を閲覧できます。各デバイスは、状態によって色分けされます。ネットワーク上のWindows®システムが稼動するコンピューターから本製品のネットワークファームウェアをアップデートしたり、ネットワーク設定を変更したりすることができます。また、ネットワーク上の本製品の使用状況を記録し、HTML、CSV、TXT、SQL形式でログデータをエクスポートすることができます。クライアントコンピューターに接続した本製品を管理する場合は、クライアントコンピューターにBRPrint Auditorソフトウェアをインストールしてください。BRAdmin ProfessionalからUSBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を管理することができます。
詳しい情報とダウンロードについては、次のURLを参照してください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）

BRPrint Auditorソフトウェア（Windows®のみ）

BRPrint Auditorソフトウェアは、USBでローカルに接続された機器をBRAdmin Professionalで管理できるようにします。USBを経由してクライアントコンピューターに接続された機器の情報を収集します。収集した情報はネットワーク上のBRAdmin Professionalが稼動している他のコンピューターで表示することができます。これによって管理者がページカウントやトナー、ドラムの状態、ファームウェアのバージョンなどの項目を確認することができます。
ブラザーネットワーク管理アプリケーションへの通知に加え、使用状況やステータス情報をCSVまたはXMLファイル形式で、あらかじめ指定したEメールアドレスに直接Eメールを送信することもできます。（SMTPメールサポートが必要です。）
また、Eメールによる警告やエラー状態の通知にも対応しています。

補足

- 情報を取得したい本製品と接続されているクライアントコンピューターに、BRPrint Auditorソフトウェアをインストールしてください。
- BRAdmin Professionalがインストールされているコンピューターにはインストールしないでください。

2章

無線LANの設定

無線LAN設定について

概要

本製品を無線LANに接続して使用する場合は、かんたん設置ガイド、または⇒27ページ「ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する」に記載されている無線LAN設定方法をおすすめします。本製品をお使いの無線LANに簡単に接続することができます。
無線LAN設定とその構成方法などについてはこの章の各項目を参照してください。
TCP/IPの設定については⇒9ページ「BRAdmin Lightで設定する」を参照してください。
プリンタードライバーのインストールに関しては、かんたん設置ガイドを参照してください。

注意

■本製品を無線LANアクセスポイント（または無線LAN対応のコンピューター）の近くに設置してください。

■本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。

■本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

■環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

■本製品は有線 LAN と無線 LAN の両方で使用できますが、同時に使用することはできません。どちらか一方を選択する必要があります。

■無線LANを設定するには、お使いの無線LANの情報が必要です。SSID、ESSID（ネットワーク名）と暗号化キー（ネットワークキー）を確認してください。

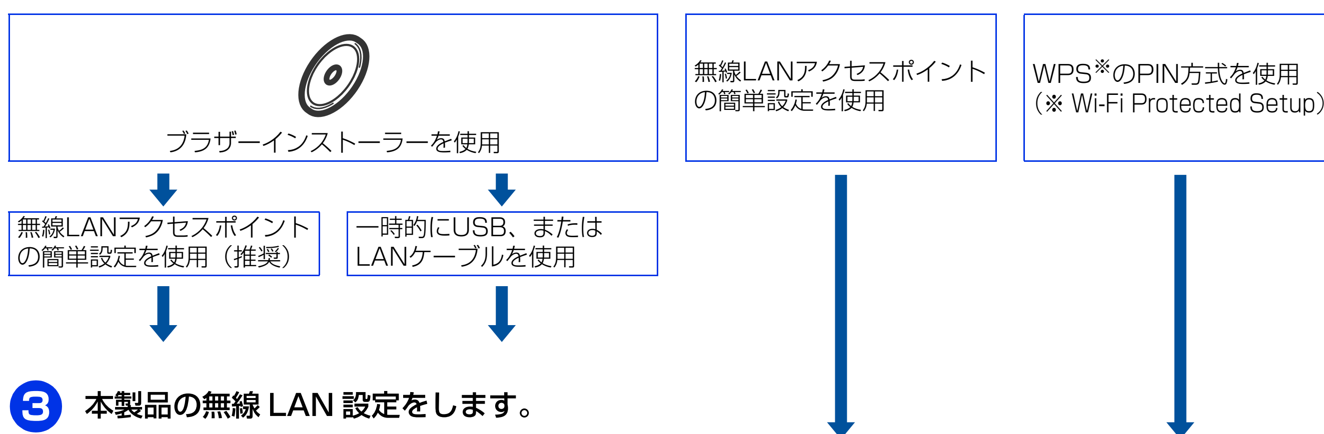
無線LAN設定の流れ

インフラストラクチャーモードの場合

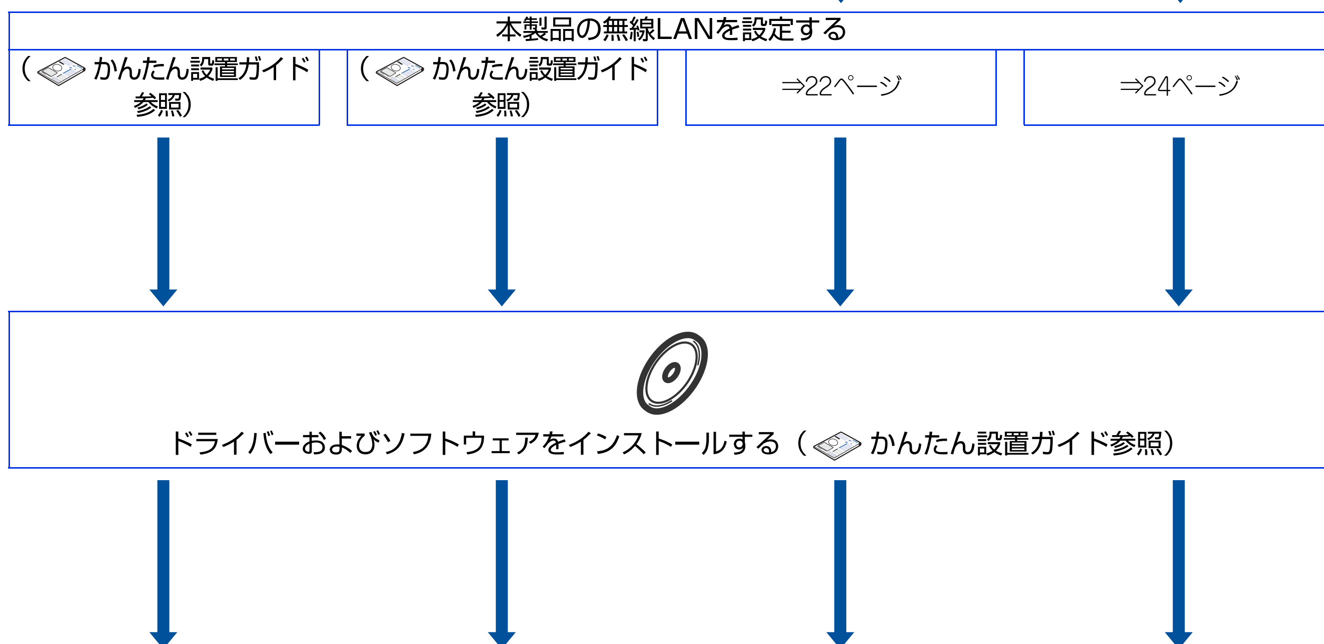
1 **ネットワーク環境を確認します。****⇒ 18ページ**

インフラストラクチャーモード
無線LANアクセスポイントとコンピューターが接続されている

2 **無線 LAN の設定方法を確認します。****⇒ 19ページ**



3 **本製品の無線 LAN 設定をします。**



OK! **無線 LAN 設定とドライバーおよびソフトウェアのインストールが完了です。**

アドホックモードの場合

1 ネットワーク環境を確認します。⇒ 18 ページ

アドホックモード 無線LANアクセスポイントなしで無線通信可能なコンピューターが接続されている



2 無線 LAN の設定方法を確認します。⇒ 19 ページ



ブラザーインストーラーを使用



3 本製品の無線 LAN 設定をします。

本製品の無線LANを設定する
⇒27ページ





ドライバーおよびソフトウェアをインストールする（ かんたん設置ガイド参照）

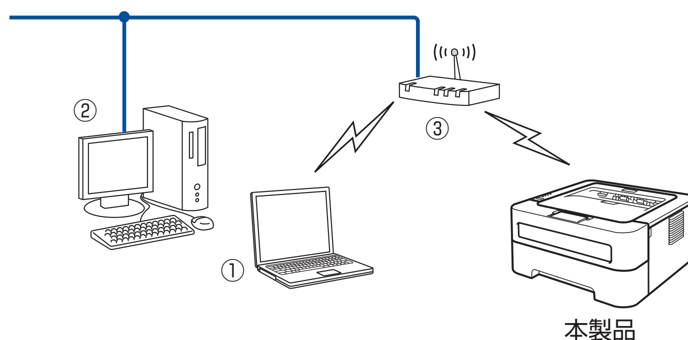


OK! 無線 LAN 設定とドライバーおよびソフトウェアのインストールが完了です。

ネットワーク環境を確認する

ネットワーク上の無線LANアクセスポイントとコンピューターが接続されている場合（インフラストラクチャーモード）

インフラストラクチャーモードは、各無線LAN端末が無線LANアクセスポイントを経由することによって、データ通信を行う通信方法です。無線LANアクセスポイントは、有線LANにも機能します。本製品をインフラストラクチャーモードに設定している場合は、印刷データを送信するすべての印刷ジョブを、無線LANアクセスポイントを経由してから受け取ります。

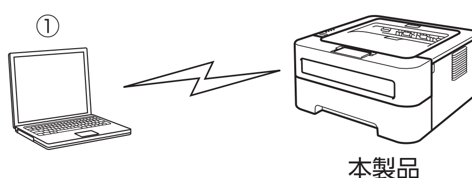


①無線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピューター
②有線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピューター
③無線LANアクセスポイント※

※ お使いのコンピューターが Intel® MWT（My WiFi Technology）に対応している場合は、コンピューターを WPS（Wi-Fi Protected Setup）対応のアクセスポイントとして使用することができます。

ネットワーク上に無線LANアクセスポイントがなく、無線通信可能なコンピューターが接続されている場合（アドホックモード）

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線LANアクセスポイントが存在しません。それぞれの無線LAN機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピューターからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。



①無線LAN対応コンピューター

無線LAN設定の方法を確認する

本製品の無線LAN設定をする場合は、次の3つの方法があります。

- 本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用する
- 無線LANアクセスポイントの簡単設定（AOSS™、WPS※1のPBC※2方式）を使用する
- WPS※1のPIN※3方式を使用する

※1　Wi-Fi Protected Setup
※2　Push Button Configuration
※3　Personal Identification Number（個人暗証番号）

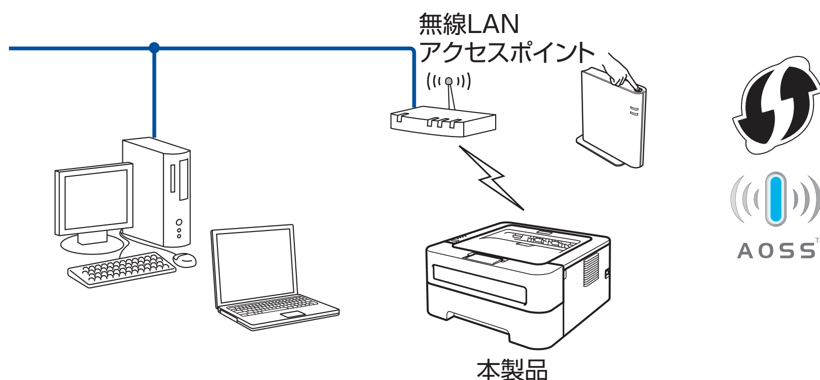
設定手順はご使用のネットワーク環境によって異なります。

ブラザーインストーラーを使用する

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用して、本製品の無線LAN設定をすることもできます。このインストーラーを使用すると、画面の指示に従って操作するだけで本製品を無線LANに簡単に接続することができます。インストールを始める前にお使いの無線LAN環境を確認してください。
詳しくは、⇒27ページ「ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する」を参照してください。

● 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線 LAN 設定をする（推奨）

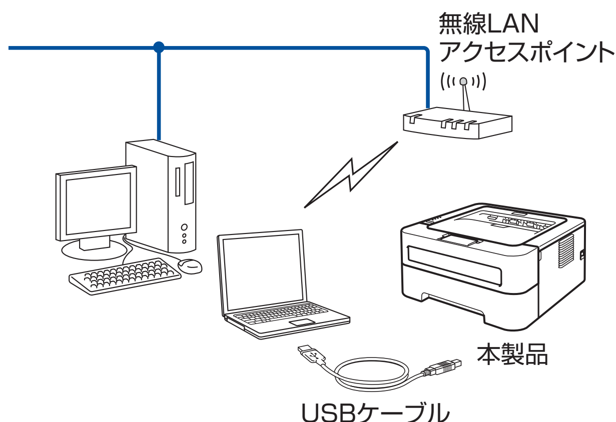
本製品に接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※方式）のどちらかに対応している場合に、無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線LAN設定をします。



※ Push Button Configuration

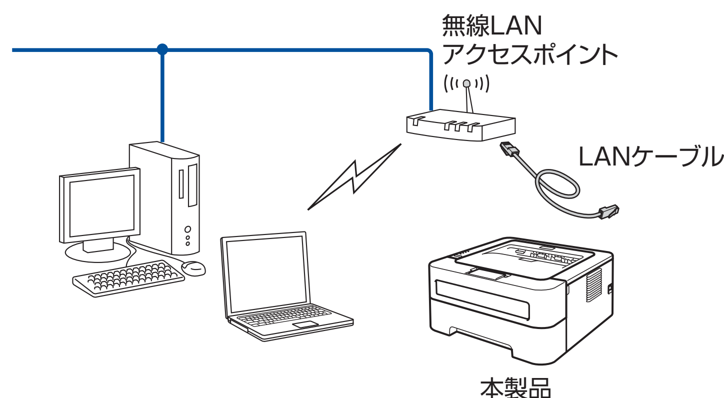
● USB ケーブルを使用して手動で無線 LAN を設定する

ネットワーク上のコンピューターと本製品を一時的にUSBケーブルを使用して接続し、本製品の無線LAN設定をします。



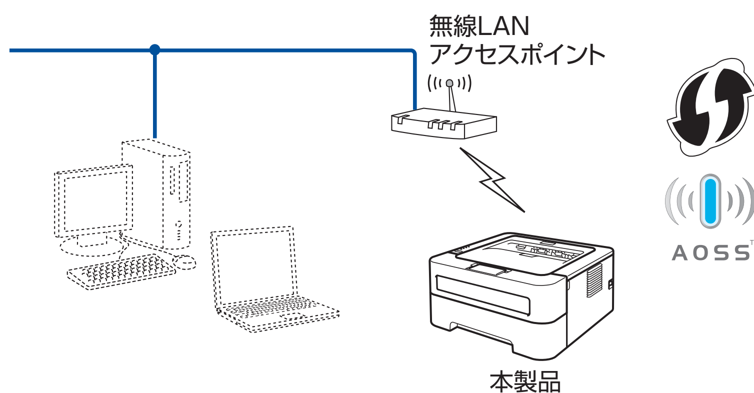
● LAN ケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする

無線LANアクセスポイントと本製品を一時的にLANケーブルを使用して接続し、本製品の無線LAN設定をします。
無線LANアクセスポイントと同じネットワーク上のコンピューターから本製品を遠隔設定することができます。



無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する（インフラストラクチャーモードのみ）

本製品を接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※方式）のどちらかに対応している場合、本製品の無線LAN設定をします。
詳しくは、⇒22ページ「無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する」を参照してください。



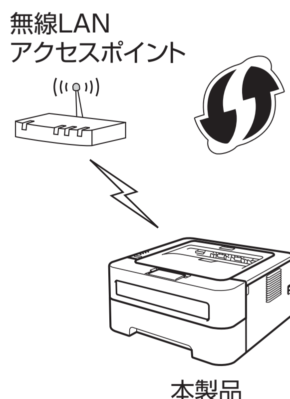
※ Push Button Configuration

WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する（インフラストラクチャーモードのみ）

本製品を接続する無線LANアクセスポイントがWPSに対応している場合は、WPSのPIN※方式を使用して本製品の無線LAN設定をすることもできます。詳しくは、⇒24ページ「WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する」を参照してください。

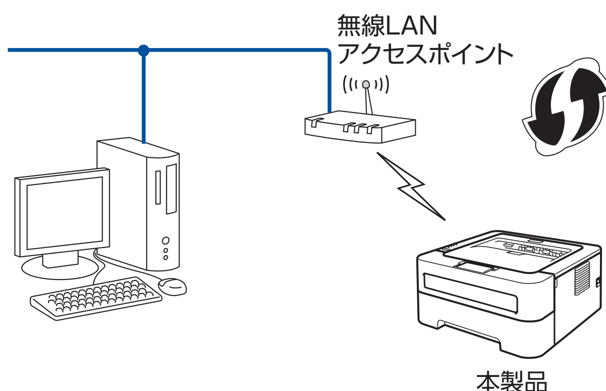
※ Personal Identification Number（個人暗証番号）

● 無線 LAN アクセスポイントをレジストラー※として使用する場合の接続



※ レジストラーとは無線LANの登録管理機器です。

● コンピューターからなど別の機器をレジストラー※として使用する場合の接続



※ レジストラーとは無線LANの登録管理機器です。

無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する

無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（Wi-Fi Protected Setup）（PBC※方式）のどちらかに対応している場合は、コンピューターを使用しないで、簡単に本製品の無線LAN設定ができます。
本製品の簡単設定モードでは、無線LANアクセスポイントが簡単設定方式のどのモード（AOSS™、またはWPS）を使用しているかを自動検出します。
無線LANアクセスポイントと本製品のボタンを押すと、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。無線LANアクセスポイントの簡単設定の操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
※ Push Button Configuration

補足

AOSS™、またはWPSに対応している無線LANアクセスポイントには、次のマークが付いています。



注意

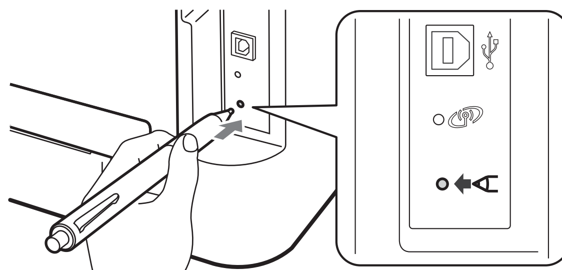
■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、⇒ 36 ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

1 電源コードが差し込まれていることを確認する

2 本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待つ

3 本製品背面の無線設定ボタンを 2 秒未満押す



補足

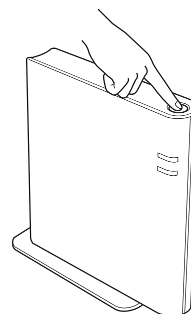
● ボールペンなどの先の尖った物で無線設定ボタンを押してください。
● 無線設定ボタンを2秒以上押すと、本製品はWPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式に切り替わります。詳しくは、⇒24ページ「WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する」を参照してください。

4 本製品が簡単設定モードに切り替わる

AOSS™、または WPS に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を 2 分間行います。

5 無線 LAN アクセスポイントの WPS、または AOSS™ ボタンを数秒間押す

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



6 Ready ランプが点灯するまで待つ

- 無線LANアクセスポイントとの接続に成功すると、Readyランプが5分間点灯（下記表を参照）します。これで本製品を無線LANで使用できます。
  - ランプが「アクセスポイントなし」を示す場合（下記表を参照）は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。本製品を無線LANアクセスポイントの近くに動かして、手順3からやり直してください。やり直してもランプ表示が同じようになる場合は、ネットワーク設定をリセットして、手順2からやり直してください。ネットワーク設定のリセットについては、⇒36ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。
  - ランプが「接続エラー」を示す場合（下記表を参照）は、対応するモードが実行中の無線LANアクセスポイントを2つ以上検出しています。AOSS™、またはWPSの無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直してください。

無線設定ボタンを使用したときのランプ表示

ランプ	無線LAN設定中	WPS/AOSS™接続中	接続成功※1	接続失敗※2	アクセスポイントなし※2	接続エラー※3		
Toner（黄）	☀	☀	○	○	○	○		○
Drum（黄）	○	☀	○	○	☀	○		○
Error（橙）	○	○	○	☀	☀	☀	⟷	○
Ready（緑）	○	○	●	○	○	○		○

※ 1：5 分間点灯します。
※ 2：30 秒間点滅します。
※ 3：20 回点滅します。

- 接続結果を表示した WLAN レポート（無線 LAN レポート）も印刷されます。印刷された WLAN レポート（無線 LAN レポート）にエラーコードが表示されている場合は、 かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照し、エラーコードの内容を確認してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する

無線LANアクセスポイントがWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PIN※方式）に対応している場合は、PIN方式を利用して簡単に本製品の無線LAN設定ができます。PIN（個人暗証番号）方式とは、Wi-Fiアライアンスが開発した接続方法のひとつです。登録者（本製品）が作成するPINをレジストラー（無線LANの登録管理機器）に入力すれば、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。
無線LANアクセスポイントのWPSの操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
※ Personal Identification Number（個人暗証番号）

補足

WPSに対応している無線LANアクセスポイントには、次のマークが付いています。



注意

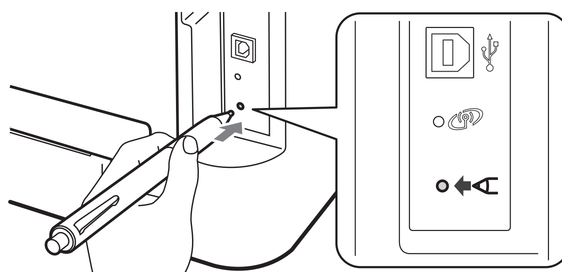
■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、⇒ 36 ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

1 電源コードが差し込まれていることを確認する

2 本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待つ

3 本製品背面の無線設定ボタンを 2 秒以上押す



補足

ボールペンなどの先の尖った物で無線設定ボタンを押してください。

4 本製品が WPS の PIN 方式に切り替わり、8 桁の PIN（個人暗証番号）が印刷される

WPS の PIN 方式に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を 5 分間行います。

5 無線 LAN アクセスポイントと同じネットワーク上にあるコンピューターからウェブブラウザーを起動する
ウェブブラウザーの入力欄に http://XXXXX/ を入力する

［XXXXX］は、レジストラー※として使用される機器の IP アドレスです。
※ 通常は無線 LAN アクセスポイントがレジストラーです。

6 WPS 設定ページへ進み、手順 4 で印刷されたページの 8 桁の PIN（個人暗証番号）をレジストラーに入力し、画面の指示に従って操作する

Windows Vista®/Windows® 7 のコンピューターをレジストラーとして使用する場合は、以下の手順に従ってください。

- Windows Vista®の場合
  (1)［スタート］－［ネットワーク］の順にクリックします。
  (2)［ワイヤレス デバイスの追加］をクリックします。
  (3) 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
  (4) 手順4で印刷されたページのPINを入力し、［次へ］をクリックします。
  (5) 接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
  (6)［閉じる］をクリックします。
- Windows® 7の場合
  (1)［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。
  (2)［デバイスの追加］をクリックします。
  (3) 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
  (4) 手順4で印刷されたページのPINを入力し、［次へ］をクリックします。
  (5) 接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
  (6)［閉じる］をクリックします。

補足

- ●WPS 設定ページは、無線 LAN アクセスポイントのメーカーによって異なります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。
- ●Windows Vista®、または Windows® 7 のコンピューターをレジストラーとして使用するには、前もってWindows Vista®、またはWindows® 7のコンピューターに無線ネットワークプロファイルを登録してください。詳しくは、無線LANアクセスポイント、またはルーターの取扱説明書を参照してください。
- ●Windows® 7 のコンピューターをご使用の場合は、Windows® Vertical Pairing 機能を利用することができます。Windows® Vertical Pairingは、Vertical Pairingをサポートしている無線機器をWPSのPIN方式と Web Services の特徴を使って、インフラストラクチャーネットワークに接続するための機能です。この機能を利用することで本製品の無線設定からプリンタードライバーのインストールまで一連の手順で行うことができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編「Vertical Pairingを使用する（Windows® 7のみ）」を参照してください。

7 Ready ランプが点灯するまで待つ

- 無線LANアクセスポイントとの接続に成功すると、Readyランプが5分間点灯（下記表を参照）します。これで本製品を無線LANで使用できます。
  - ランプが「接続失敗」を示す場合（下記表を参照）は、本製品が無線LANアクセスポイントに正常に接続されていないか、入力したPIN（個人暗証番号）が間違っています。入力するPIN（個人暗証番号）を確認し、手順3からやり直してください。やり直してもランプ表示が同じようになる場合は、ネットワーク設定をリセットして、手順2からやり直してください。ネットワーク設定のリセットについては、⇒36ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。
  - ランプが「アクセスポイントなし」を示す場合（下記表を参照）は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。本製品を無線LANアクセスポイントの近くに動かして、手順3からやり直してください。やり直してもランプ表示が同じようになる場合は、ネットワーク設定をリセットして、手順2からやり直してください。ネットワーク設定のリセットについては、⇒36ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

WPSのPIN方式を使用したときのランプ表示

ランプ	無線LAN設定中	接続成功※1	接続失敗※2	アクセスポイントなし※2
Toner（黄）	☀	○	○	○
Drum（黄）	○	○	○	☀
Error（橙）	○	○	☀	☀
Ready（緑）	○	●	○	○

※ 1：5 分間点灯します。
※ 2：30 秒間点滅します。
※ 3：20 回点滅します。

- 接続結果を表示した WLAN レポート（無線 LAN レポート）も印刷されます。印刷された WLAN レポート（無線 LAN レポート）にエラーコードが表示されている場合は、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照し、エラーコードの内容を確認してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

3章

ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する

概要

本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内に収録されているブラザーインストーラーを使用して、ネットワーク環境に本製品を接続することができます。

注意

本製品を無線LANに接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

無線LAN設定をする前に

無線LAN接続設定をする際、お使いの無線LANの情報が必要です。まず、無線LANの設定内容を確認し、記入してください。設定時のネットワークキー、ユーザー ID、パスワードは、上記で確認したものを入力してください。

SSID（ネットワーク名）

接続モード	認証方式	暗号化方式	暗号化キー（ネットワークキー）
インフラストラクチャー	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	
	共有キー認証	WEP	
	WPA/WPA2-PSK※1	AES	
		TKIP※2	
アドホック	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	

※1　WPA/WPA2-PSKは、Wi-Fiが提唱する事前共有キーを使用した認証方式です。TKIPやAESの暗号キーを使用し、本製品をアクセスポイントに接続します。
WPA2-PSK(AES)とWPA-PSK(TKIP/AES)は、半角8～63文字以内のネットワークキーを使用して認証を行います。

※2　WPA-PSKのみ対応しています。

例：

SSID（ネットワーク名）
HELLO

接続モード	認証方式	暗号化方式	暗号化キー（ネットワークキー）
インフラストラクチャー	WPA2-PSK	AES	12345678

補足

WEPキーを使用した場合、本製品は最初に使用したWEPキーのみをサポートします。複数のWEPキーを使用しているルーターの場合は、入力したキーが最初のWEPキーとして使用されます。

無線LANの設定をする

注意

- ■本製品の無線LAN設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。
  詳しくは、⇒36ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。
- ■パーソナルファイアウォール（Windows® ファイアウォールなど）を有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線LANの設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。
- ■設定には、一時的にLANケーブル、またはUSBケーブルが必要です。（無線LANの簡単設定を使用する場合は、不要です）
- ■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **Windows® は、コンピューターの電源を入れる**

管理者権限をもつユーザーでログオンします。

Macintosh は、Macintosh の電源を入れる

管理者権限をもつユーザーでログインします。

3 **Windows® は、本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする**

トップメニューが表示されます。
手順 4 へ進みます。

Macintosh は、本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

手順 5 へ進みます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

4 **［HL-2270DW］をクリックする**

5 Windows® は、［プリンタードライバーのインストール］をクリックする

手順 7 へ進みます。



補足

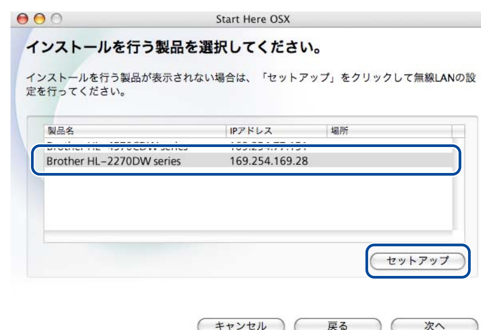
Windows Vista®の場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［許可］をクリックしてください。
Windows® 7の場合は、［はい］をクリックしてください。

Macintosh は、［Start Here OSX］アイコンをダブルクリックする

手順 6 へ進みます。



6 本製品を選択し、［セットアップ］をクリックする



7 ［無線 LAN 接続］選択し、［次へ］をクリックする

Windows® の場合は、手順 8 へ進みます。
Macintosh の場合は、手順 11 へ進みます。

Windows®

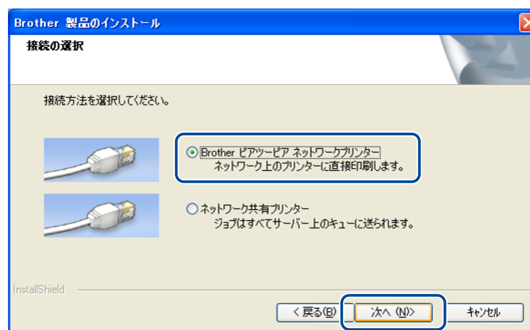


Macintosh



本書の使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルを使用する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

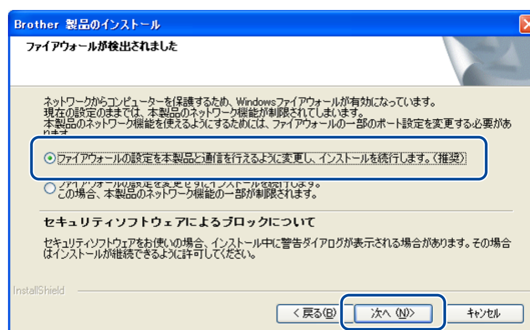
8 [Brother ピアツーピア ネットワークプリンター]、または［ネットワーク共有プリンター］のどちらかを選択し、[次へ］をクリックする



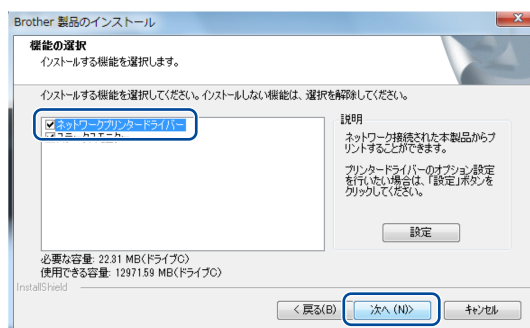
補足

- ［ネットワーク共有プリンター］を選択した場合は、本製品のキューを選択し、［OK］をクリックします。
- 本製品のネットワーク上の位置や名前が分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

9 ファイアウォール検出画面で、[ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)］を選択し、[次へ］をクリックする

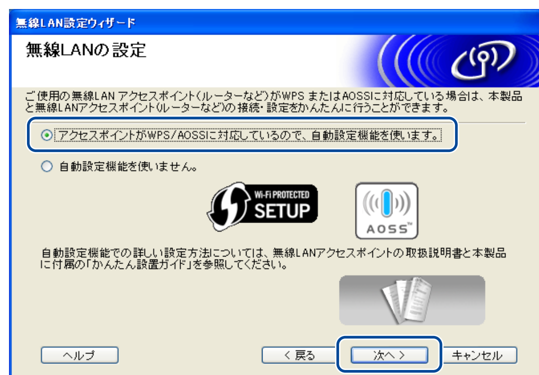


10 機能の選択画面で、[ネットワークプリンタードライバー]を選択し、[次へ］をクリックする



11 無線 LAN アクセスポイントが AOSS™、または WPS に対応していて、無線 LAN の簡単設定を使う場合は、［アクセスポイントが WPS/AOSS に対応しているので、自動設定機能を使います。］を選択し、［次へ］をクリックする 自動設定を使わない場合は、［自動設定機能を使いません。］を選択し、［次へ］をクリックする

Windows®



Macintosh



［自動設定機能を使いません。］を選択した場合、次の 3 つの方法で無線 LAN を設定できます。画面の指示に従って、無線 LAN 設定をしてください。

- 一時的にUSBケーブルを使用して設定を行います（推奨）
- 一時的にLANケーブルを使用して設定を行います
- ケーブルを使用せず、アドホックモードで設定を行います。（上級ユーザー向け）

補足

アドホックモードで設定している場合

- アドホックモードで設定している場合、無線 LAN 設定に切り替わった後に、コンピューターの再起動メッセージが表示されることがあります。この場合は、コンピューターを再起動し、手順3からやり直してください。
- コンピューターの無線LAN設定を変更する
  - Windows® 7の場合
    ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
    ②［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。
    ③［ネットワークに接続］をクリックします。
    一覧に本製品のSSIDが表示されます。
    ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
    ⑤「ネットワークと共有センター」画面で、「識別」アイコンが「不明ネットワーク」のアイコンに変わったら、［ワイヤレスネットワーク接続（SETUP)］をクリックします。
    ⑥［詳細］をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。
    ⑦ IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。
    （xxxは1～254までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。
  - Windows Vista®の場合
    ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
    ②［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。
    ③［ネットワークに接続］をクリックします。
    一覧に本製品のSSIDが表示されます。
    ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
    ⑤［接続します］をクリックし、［閉じる］をクリックします。
    ⑥「ワイヤレスネットワーク接続（SETUP)」の［状態の表示］をクリックします。
    ⑦［詳細］をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。
    ⑧ IP アドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxx は 1 ～ 254 までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。

- Windows® XP SP2以降のユーザーの場合
  ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
  「コントロールパネル」画面がカテゴリ表示の場合は、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。
  ②［ネットワーク接続］をクリックします。
  ③［ワイヤレス　ネットワーク接続］アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレス　ネットワークの表示］をクリックします。
  一覧に本製品のSSIDが表示されます。
  ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
  ⑤［ワイヤレスネットワーク接続］をクリックします。
  ⑥ IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxxは1～254までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。
- Macintoshの無線LAN設定を変更する
  ① メニューバーの［AirMac］アイコンをクリックします。
  ②［SETUP］を選択します。
  無線LANに正常に接続されています。

12 画面の指示に従って、無線 LAN の設定をする

補足

無線LAN設定に失敗した場合は、ネットワーク設定をリセットし、再度設定してください。
ネットワーク設定のリセットについては、⇒36ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

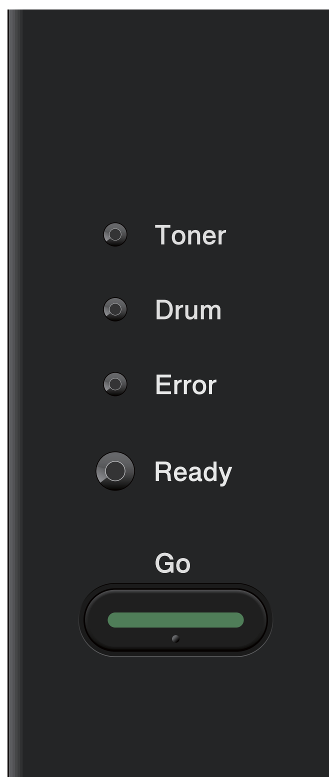
続いて本製品に付属のドライバー ＆ ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

4章

操作パネルを使用する

概要

本製品の操作パネルを使用して、以下の操作をすることができます。



- **ネットワーク設定のリセット**
  ⇒36ページ「ネットワーク設定のリセット」
- **プリンター設定一覧の印刷**
  ⇒36ページ「プリンター設定一覧の出力」
- **無線 LAN を有効または無効にする**
  ⇒37ページ「無線LANを有効または無効にする」

ネットワーク設定のリセット

現在のネットワーク（有線LANおよび無線LAN）設定をすべてお買い上げ時の設定に初期化できます。

補足

- この設定では、IP アドレスやメールアドレスなど、すでに設定しているネットワーク（有線 LAN および無線 LAN）のすべての情報を初期化します。
- BRAdminアプリケーション、またはウェブブラウザーを使用してもネットワーク設定のリセットができます。
詳しくは、⇒13ページ「その他の管理ユーティリティ」を参照してください。

1 **本製品の電源スイッチを OFF にする**

2 **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認する**

3 **<Go> を押したままの状態で本製品の電源スイッチを ON にし、すべてのランプが点灯後、Ready ランプが消灯したら、<Go> から指を離す**

すべてのランプが消灯します。

4 **<Go> を 6 回押す**

ネットワーク設定がリセットされると、すべてのランプが点灯し、本製品が再起動します。

プリンター設定一覧の出力

現在の本製品に関する設定内容（ネットワーク設定を含む）を印刷できます。

補足

ノード名（NetBIOS名）：プリンター設定一覧にはノード名が表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

1 **本製品の電源スイッチを OFF にする**

2 **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認する**

3 **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待つ**

4 **<Go> を 2 秒以内に 3 回押す**

プリンター設定一覧が印刷されます。

補足

プリンター設定一覧のIPアドレスが「0.0.0.0」と印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。1分後に操作をやり直してください。

無線LANを有効または無効にする

必要に応じて無線LANの設定を有効または無効に設定できます。
お買い上げ時の無線LANの設定は、無効に設定されています。

1 **本製品の電源スイッチを OFF にする**

2 **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認する**

3 **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待つ**

4 **<Go> を 10 秒間押す**

現在のネットワーク設定を示すネットワーク設定リストが印刷されます。

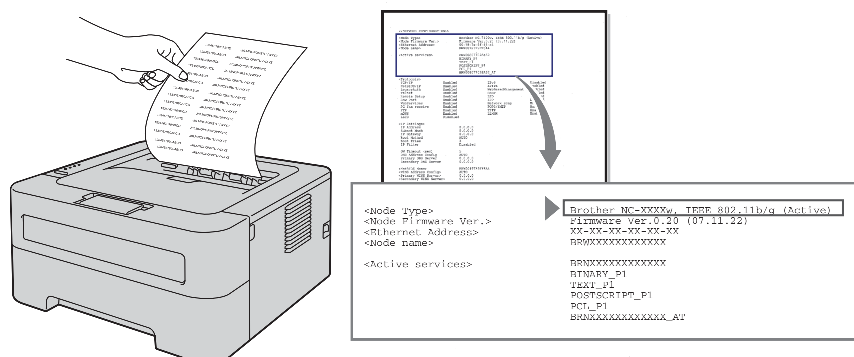
5 **ネットワーク設定リストが印刷されたら、<Go> から指を離す**

補足

10秒経過する前に<Go>から指を離すと、再印刷モードに切り替わります。

6 **ネットワーク設定リストの「Node Type」欄の「IEEE802.11b/g」で無線 LAN の有効、または無効を確認する**

有効の場合は、"Active"、無効の場合は "Inactive" と記載されています。



補足

無線LANの設定を有効または無効にする設定は、BRAdminアプリケーション、またはウェブブラウザーを使用してもすることができます。
詳しくは、⇒13ページ「その他の管理ユーティリティ」を参照してください。

WLANレポート（無線LANレポート）の出力

現在の無線LANに関する設定内容を印刷できます。
無線LAN接続ができない場合は、印刷されたWLANレポート（無線LANレポート）でエラーコードを確認してください。エラーコードの詳細については、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

1. **本製品の電源スイッチを OFF にする**

2. **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認する**

3. **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待つ**

4. **<Go> を４秒以内に５回押す**
   WLAN レポート（無線 LAN レポート）が印刷されます。

5章

ウェブブラウザーで管理する

概要

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、ネットワークに接続されている本製品を管理することができます。
Windows®の場合はMicrosoft® Internet Explorer® 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降を推奨します。

補足

- どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- 他のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP 1.0およびHTTP 1.1と互換性があることを確認してください。

ウェブブラウザーを使用して、本製品から次の情報を取得することができます。
- 本製品のステータス、設定、メンテナンスに関する詳細情報の取得
- 本製品とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の取得
- 本製品の設定変更
- ネットワークの設定変更
- テストページ、プリンター設定一覧の印刷
- ネットワーク設定リセット

● 条件

本製品とコンピューターのTCP/IP設定が完了していること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピューターがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザーを起動し、本製品のIPアドレスまたはノード名（NetBIOS名）を入力します。

ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用し、プリントサーバーなどの設定を変更することができます。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する

- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。



例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザーに http://192.168.1.3/ と入力します。

- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

3 目的の管理機能へのリンクをクリックする

ネットワークの設定を表示または変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。



4 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。



5 必要に応じて設定を変更する

補足

- ●プロトコル設定を変更した場合は、変更内容を有効にするため［OK］をクリックして、画面の指示に従って本製品を再起動してください。
- ●hosts ファイルを編集した場合や、または DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前（例：Shared_Printer）を入力します。また、本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているためIPアドレスではなく、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。NetBIOS名は、プリンター設定一覧で確認できます。プリンター設定一覧を印刷するには、⇒36 ページ「プリンター設定一覧の出力」を参照してください。NetBIOS名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。お買い上げ時の NetBIOS 名は、“BRNxxxxxxxxxxxx”です。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）
- ●Mac OS X ユーザーの方は、ステータスモニターの本製品アイコンをクリックしてウェブブラウザーを起動することで、本製品にアクセスすることができます。
詳しくは⇒ユーザーズガイドを参照してください。

6章

セキュリティ機能

概要

コンピューターをネットワークに接続していると、悪意のある第三者によって不正にネットワークにアクセスされてデータや機密情報が読み取られてしまうなどの危険性があります。
本製品は、最新のネットワークセキュリティおよび暗号化プロトコルを使用して、機器への不正アクセスを防止する機能を搭載しています。
この章では、本製品がサポートしているセキュリティプロトコルやその設定方法について説明します。

以下のセキュリティ管理をすることができます。

● 安全に E メール送受信をする

詳しくは、⇒45ページ「安全なEメールの送受信」を参照してください。

● BRAdmin Professional を使って、本製品を安全に管理をする

詳しくは、⇒48ページ「BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）」を参照してください。

補足

Telnet、FTP、TFTPプロトコルを無効にしてください。これらのプロトコルを使って機器にアクセスすることは、セキュリティ上安全ではありません。プロトコルの設定方法については、⇒44ページ「プロトコルを設定する」を参照してください。

本書の使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルを使用する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

プロトコルを設定する

ウェブブラウザーを使って、各プロトコルおよびセキュリティ方法を有効または無効にできます。

補足

- Windows®の場合はInternet Explorer® 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降をおすすめします。
- どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- 上記以外のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP1.0とHTTP1.1に互換性があるかを確認してください。
- ウェブブラウザーを使用するには、本製品のIPアドレスが必要です。

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する**

［XXXXX］はご使用になる本製品の IP アドレスです。

例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.2 の場合
　　ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足

hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、プリンター設定一覧に表示されます。プリンター設定一覧の印刷方法については、⇒36ページ「プリンター設定一覧の出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名「BRNxxxxxxxxxxxx」と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

3 **［ネットワーク設定］をクリックする**

4 **［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする**

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

5 **［プロトコル設定］をクリックする**

6 **必要に応じてプロトコルの設定を変更する**

7 **設定を変更した場合は、［OK］をクリックする**

本製品の電源を入れなおした後に、設定が変更されます。

安全なEメールの送受信

ユーザー認証を必要とするSMTPサーバーを経由してEメール通達機能を使用するには、「POP before SMTP」/「SMTP-AUTH」の認証方法を使用する必要があります。これらの設定はウェブブラウザーで設定することができます。
「POP before SMTP」/「SMTP-AUTH」の認証方法は、無許可のユーザーがメールサーバーに不正にアクセスしたり、Eメールデータが読み取られることを防ぎます。

補足

POP3/SMTP認証の設定をEメールサーバーのいずれかに合わせる必要があります。使用前の設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。Eメール通達機能は、ウェブブラウザーから本製品にアクセスし、［Eメール通達（エラー情報）］から設定してください。

Eメール通達機能について

Eメール通達機能では、あらかじめ登録しておいたネットワーク管理者に、本製品の状態やトラブルが起きたときにその内容をEメールでお知らせすることができます。
例えば、トナー切れや紙づまりが起きたときなどに、登録しておいたメールアドレスにお知らせメールが届きます。

Eメール通達機能を利用するには、メールアドレスとSMTPサーバーの設定が必要です。使用している環境に応じて設定してください。

ウェブブラウザーを使って設定する

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する**

［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。

例）本製品のIPアドレスが192.168.1.2の場合
　　ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足

hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、プリンター設定一覧に表示されます。プリンター設定一覧の印刷方法については、⇒36ページ「プリンター設定一覧の出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名「BRNxxxxxxxxxxxx」と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

3 **［ネットワーク設定］をクリックする**

4 **［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする**

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

5 ［プロトコル設定］をクリックする

6 「POP3/SMTP 設定」を必ず有効にし、［詳細設定］をクリックする

7 POP3/SMTP の設定を変更する

ネットワーク設定
TCP/IP NetBIOS プロトコル

POP3/SMTP設定

状態	有効
送信メールサーバ(SMTP)	0.0.0.0
SMTPポート	25
送信メールサーバ(SMTP)認証方式	◉認証なし ○SMTP-AUTH ○POP before SMTP
SMTP-AUTHアカウント名	
SMTP-AUTHアカウントパスワード	
パスワード設定	
パスワード確認	
プリンタのEメールアドレス	XXXXXXXXXXXX@example.com
受信メールサーバ(POP3)	0.0.0.0
POP3ポート	110
アカウント名(ユーザ名)	
パスワード	
パスワード設定	
パスワード確認	
	□APOPを使用

Eメール通達(エラー情報)

キャンセル　OK

Copyright(C) 2000-2010 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足

- 詳細については、ウェブブラウザーのPOP3/SMTP設定のヘルプ を参照してください。
- 設定後にテストメールを送信し、Eメール設定が正しいことを確認してください。

8 設定を変更した場合は、［OK］をクリックする

「E メール送信設定テスト」画面が表示されます。

9 現在の設定をテストしたい場合は、画面上の指示に従う

ユーザー認証付Eメール通達を使用する

本製品は、ユーザー認証を必要とするSMTPサーバーを経由して、Eメール通達機能を使用するための「POP before SMTP」または「SMTP-AUTH」認証方法をサポートしています。ウェブブラウザー、またはBRAdmin Professionalを使用して設定することができます。
「POP3/SMTP設定」画面で、以下の設定をします。詳しくは、⇒45ページ「ウェブブラウザーを使って設定する」を参照してください。

Eメールサーバーを設定する

SMTP認証方法をEメールサーバーの認証方法に設定する必要があります。
Eメールサーバーの設定については、ネットワーク管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
SMTP認証方式を有効にするには、「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」の［SMTP-AUTH］にチェックを入れる必要があります。

SMTPを設定する

- ウェブブラウザーで　SMTP　ポート番号も変更できます。これは、ご使用の　ISP（インターネットサービスプロバイダー）が「Outbound Port 25 Blocking（OP25B）」サービスを実施している場合に便利です。
- SMTPポート番号をISPがSMTPサーバーで使用している特有の番号（例：ポート587）に変更することで、SMTPサーバー経由でEメールを送信できるようになります。
- 「POP　before　SMTP」と「SMTP-AUTH」の両方を使える場合は、「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」の［SMTP-AUTH］を選択することをおすすめします。
- 「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」を［POP before SMTP］に設定すると、受信メールサーバー（POP3）の設定が必要となります。また、「APOPを使用」をチェックして、APOP方式を使用することもできます。

BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalを使って本製品を安全に管理するには、次の点に従ってください。

- BRAdmin Professionalは、最新バージョンをご使用されることをおすすめします。
  BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。旧バージョンの BRAdmin Professionalを使ってブラザー機器を管理すると、ユーザー認証においてセキュリティ上安全ではありません。
- 旧バージョン※1のBRAdminからアクセスすることを避けたい場合は、ウェブブラウザーを使って「プロトコル設定」画面のSNMPの［詳細設定］で、旧バージョン※1のBRAdminからのアクセスを無効に設定する必要があります。⇒41ページ「ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する」を参照してください。
- 従来のプリントサーバー※2と本製品のプリントサーバーが混在したグループを BRAdmin Professional で管理している場合は、グループごとに異なるパスワードを使うことをおすすめします。これによって本製品が安全に管理されます。

※1 Ver.2.80以前のBRAdmin Professional、Ver. 1.10以前のMacintosh用BRAdmin Light
※2 NC-2000シリーズ、NC-2100p、NC-3100h、NC-3100s、NC-4100h、NC-5100h、NC-5200h、NC-6100h、NC-6200h、NC-6300h、NC-6400h、NC-8000、NC-100h、NC-110h、NC-120w、NC-130h、NC-140w、NC-8100h、NC-9100h、NC-7100w、NC-7200w、NC-2200w

7章

困ったときは（トラブル対処方法）

概要

この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。
問題が解決しない場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）を参照してください。

- 無線LANで無線LANアクセスポイントと接続できない　⇒51ページ
- インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない　⇒52ページ
- 印刷できない　⇒53ページ
- ネットワーク機器に問題ないか調べるには　⇒54ページ
- ネットワークの設定がうまくいかないときは　⇒55ページ

無線LANアクセスポイントに接続できない

無線LANに接続できない場合は、以下の確認、またはお問い合わせをしてください。それでも接続ができない場合は、かんたん設置ガイドを参照してください。

無線 LAN アクセスポイントと本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？

本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、無線LANアクセスポイントに近づけてください。
セットアップ時は1m以内に近づけてください。

近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？

本製品の近くに、他の無線LANアクセスポイントやコンピューター、Bluetooth対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

以下の場合は、お使いのブロードバンドルーターなどのメーカーにお問い合わせください。

無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？

無線LANでインターネットに接続できるかお試しください。
接続できない場合は、無線LANアクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。

アクセス制限を設定していませんか？

本製品のIPアドレスを無線LANアクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

補足

本製品のMACアドレスを調べるには、プリンター設定一覧を印刷してください。詳しくは、⇒36ページ「プリンター設定一覧の出力」を参照してください。

SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？

無線LANアクセスポイントのステルス（SSIDの隠ぺい）機能を使用しているときは、本製品がSSIDを自動的に見つけることはできません。ブラザーインストーラーを使用して、本製品のSSIDを入力してください。
詳しくは、⇒27ページ「ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する」を参照してください。

暗号化キーやパスワードの設定は正しいですか？

大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。

近くで別の無線機器を使用していませんか？

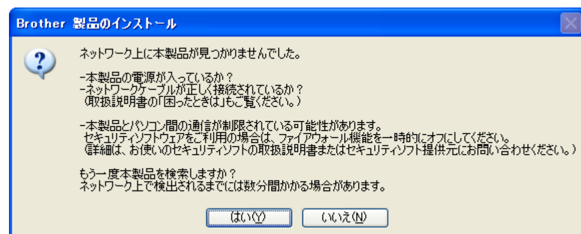
マンションやアパートでご近所にすでに別の無線機器が導入されているときは、干渉を避けるため、相手の無線機器が使用しているチャンネル番号から5ch離して設定してください。

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

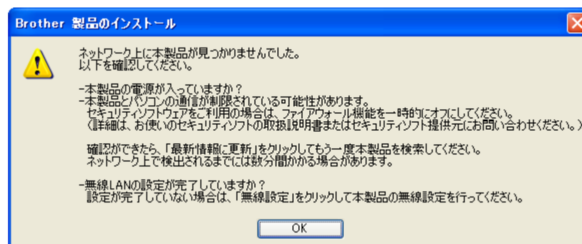
注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］または［OK］をクリックして再度検索を行います。

有線LANの場合



無線LANの場合



■それでも検索されない場合、有線 LAN のときは、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示に従って、IP アドレスなどを設定してください。無線 LAN のときは、［OK］をクリックし、前の画面に戻り［最新の情報に更新］をクリックしてください。

以下の項目を確認してください。

1 **お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか確認する**

⇒ 54 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**

⇒ 54 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 **設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する**

⇒ 55 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

本書の使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルを使用する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

印刷できない

以下の項目を確認してください。

1 お使いのコンピューターから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認する

⇒54 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する

⇒54 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認する

⇒55 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

4 ルーターやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスを繰り返し変更した直後には、IP アドレス設定に間違いがなくても正常に動作しない可能性があります。ルーターやハブ（HUB）の電源を入れなおしてください。

5 古い印刷ジョブを削除する

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。プリンターフォルダー内のプリンターアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンターフォルダーの表示方法

- Windows Vista®の場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® 7の場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。
- Windows® XPの場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。
- Windows® 2000の場合
  ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

補足

● 問題が解決できなかった場合は、一度ドライバーとソフトウェアをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従って、再度インストールしなおすことをおすすめします。

● アンインストールの方法（Windows®の場合）
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［HL-2270DW LAN］を選び、［アンインストール］をクリックします。画面の指示に従ってアンインストールをしてください。

ネットワーク機器に問題ないか調べるには

お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下の点を確認してください。

本製品の電源は入っていますか？

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、⇒ユーザーズガイドの「困ったときには」を参照してエラーを解除してください。

有線 LAN の場合

接続したルーターやハブ（HUB）のランプは点灯/点滅していますか？

- ランプが点灯/点滅している場合
  接続には問題ありません。
- ランプが点灯/点滅していない場合
  物理的な接続に問題があるようです。以下の項目を確認してください。

1 **ハブ（HUB）またはルーターなどの LAN ポートにコンピューターと本製品が正しく接続されている？**

- 接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。
- ストレートケーブル以外は使用しないでください。
- 他のケーブルで接続しなおしてください。

2 **ルーター / ハブ（HUB）のリンクランプが点灯 / 点滅している？**

一般的に、ルーター / ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 / 点滅で接続状態を確認できます。
点灯 / 点滅していない場合には

- ほかのLANポートに接続しなおす
- ほかのLANケーブルに差し換える

ことで改善されるかお試しください。
それでも点灯 / 点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルーターのメーカーにご相談ください。

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

注意

セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールが完了できないことがあります。この場合は、一時的にセキュリティソフトを停止し、ドライバーのインストールをやり直してください。

印刷機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。
拒否をした場合、セキュリティの解除方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IPアドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
お使いのコンピューターと本製品のIPアドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。
Windows®の場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」が用意されています。はじめに、このツールを使って自動で修復できるかどうかお試しください。
Macintosh の場合は、お使いのコンピューターと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを確認し、手動で再設定を行ってください。再設定については、⇒8ページ「ネットワークの設定」をご覧ください。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使用する（Windows®のみ）

「ネットワークプリンター診断ツール」でネットワークプリンターを診断し、その結果を表示、場合によっては問題を自動で修復します。

補足

- Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/Windows® 7 を使用している場合は、ネットワーク管理者権限でネットワークにログインしてください。
- 本製品の電源を入れ、コンピューターとネットワーク接続して状態で、以下の手順を実行してください。

1 **Windows® 2000/XP/Windows Server® 2003/2008 は、**
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］をクリックし、［マイコンピュータ］をクリックする
Windows Vista® は、
［スタート］メニューから［コンピュータ］をクリックする
Windows® 7 は、
［スタート］メニューから［コンピューター］をクリックする

2 **［ローカルディスク (C:)］－［Program Files（Program Files (x86)）］－［Browny02］－［Brother］を選び、［BrotherNetTool.exe］をダブルクリックする**

補足

- Windows Vista® の場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［許可］をクリックしてください。
- Windows® 7の場合は、［はい］をクリックしてください。

3 **画面の指示に従い、診断修復を行う**

ネットワークプリンター診断修復ツールを使用しても改善しない場合は、ネットワーク管理者へのお問い合わせ、またはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）を参照してください。

補足

ステータスモニターを使用して、ネットワークプリンター診断修復ツールを自動的に起動させることができます。以下の手順に従って設定してください。
① ステータスモニターを表示させて右クリックします。
②［オプション］-［詳細設定］-［診断］タグをクリックします。
③「接続状態を常に監視する」のチェックボックスにチェックを入れ、［OK］をクリックします。
ステータスモニターの表示方法については、⇒ユーザーズガイドを参照してください。
ただし、ネットワークプリンター診断修復ツールを使用して自動修復を行った場合、ネットワーク管理者が設定した固定のIPアドレスが自動的に変更される場合があるのでおすすめしません。

1. コンピューターのネットワーク情報を調べる

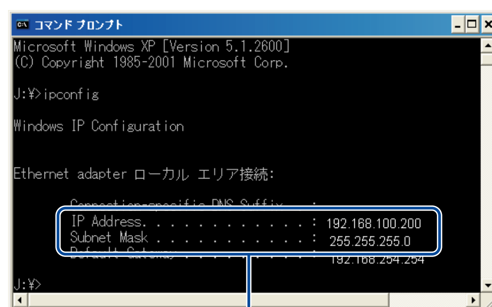
Windows®の場合

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］ー［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックする

2 「ipconfig」と入力し、Enter キーを押す

3 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

例）画面はWindows® XPです。
Windows Vista® の場合は、IPv4 Address、IPv6 Addressの両方が表示されます。



（A）コンピューター側記入欄

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 「exit」と入力し、Enter キーを押して終了する

Mac OS X 10.4.11の場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］－［ネットワーク］をクリックする

3 ［設定］－［TCP/IP］をクリックする

4 「IP アドレス」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

ネットワーク設定画面で［手入力］に設定していない場合は、表示されないことがあります。

IP Address (IPアドレス)	.	.	.	
Subnet Mask (サブネットマスク)	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask (サブネットマスク)	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Mac OS X 10.5.x，10.6.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］－［ネットワーク］をクリックする

3 ［詳細］－［TCP/IP］をクリックする

4 「IPv4 アドレス（IP アドレス）」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. 本製品のネットワーク情報を調べる

1 プリンター設定一覧を印刷する

⇒36 ページ「プリンター設定一覧の出力」

2 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

PRINTER SETTINGS(3/3)

IP Address
Subnet Mask

（B）本製品側記入欄

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

3. コンピューターのIPアドレスと本製品のIPアドレスを比較する

⇒56ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」で書き留めた（A）の値と、⇒59ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で書き留めた（B）の値を比較します。

（A）コンピューター側

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

（B）本製品側

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX



（A）と（B）の太枠の部分が同じであることを確認する

例）サブネットマスクの値が［255.255.255.0］の場合

（A）コンピューター側

IP Address（IPアドレス）	192.	168.	123.	011

（B）本製品側

IP Address（IPアドレス）	192.	168.	123.	250



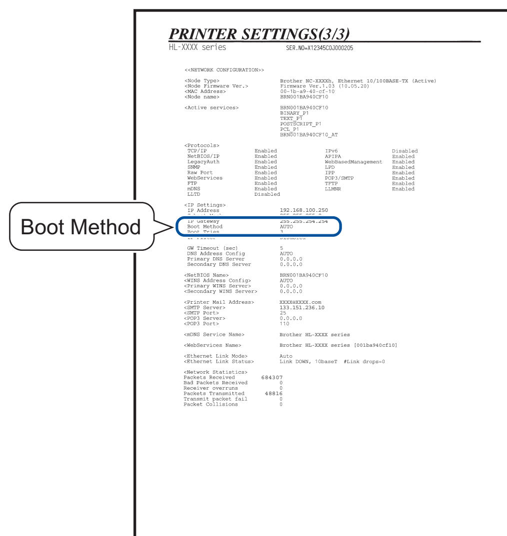
手順 1 の表の灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する



手順 1 の表の灰色の部分の値が、2 ～ 254 の範囲内であることを確認する

4. 本製品のIPアドレス取得方法を確認する

⇒59ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で印刷したプリンター設定一覧の、「Boot Method」の項目を確認します。




```
PRINTER SETTINGS(3/3)
HL-XXXX series                SER.NO=X12345C0J000205

<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>              Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>     Firmware Ver.1.03 (10.05.20)
<MAC Address>            00-1b-a9-40-cf-10
<Node name>              BRN001BA940CF10

<Active services>        BRN001BA940CF10
                         BINARY_P1
                         TEXT_P1
                         POSTSCRIPT_P1
                         PCL_P1
                         BRN001BA940CF10_AT

<Protocols>
 TCP/IP         Enabled     IPv6                 Disabled
 NetBIOS/IP     Enabled     APIPA                Enabled
 LegacyAuth     Enabled     WebBasedManagement   Enabled
 SNMP           Enabled     LPD                  Enabled
 Raw Port       Enabled     IPP                  Enabled
 WebServices    Enabled     POP3/SMTP            Enabled
 FTP            Enabled     TFTP                 Enabled
 mDNS           Enabled     LLMNR                Enabled
 LLTD           Disabled

<IP Settings>
 IP Address               192.168.100.250
 IP Gateway               255.255.254.254
 Boot Method              AUTO
 Boot Tries               3

 GW Timeout (sec)         5
 DNS Address Config       AUTO
 Primary DNS Server       0.0.0.0
 Secondary DNS Server     0.0.0.0

<NetBIOS Name>            BRN001BA940CF10
<WINS Address Config>     AUTO
<Primary WINS Server>     0.0.0.0
<Secondary WINS Server>   0.0.0.0

<Printer Mail Address>    XXXX@XXXX.com
<SMTP Server>             133.151.236.10
<SMTP Port>               25
<POP3 Server>             0.0.0.0
<POP3 Port>               110

<mDNS Service Name>       Brother HL-XXXX series

<WebServices Name>        Brother HL-XXXX series [001ba940cf10]

<Ethernet Link Mode>      Auto
<Ethernet Link Status>    Link DOWN, 10baseT  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received         684307
Bad Packets Received          0
Receiver overruns             0
Packets Transmitted       48816
Transmit packet fail          0
Packet Collisions             0
```

- **「Boot Method」が「AUTO」の場合**

  本製品をコンピューターと同じルーターやハブに接続し、本製品の電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、以下の『「Boot Method」が「STATIC」の場合』を参照して手動で設定してください。

- **「Boot Method」が「STATIC」の場合**

  本製品のIPアドレスを以下のように設定してください。

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

太枠内

⇒56ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」の（A）と同じ値を設定してください。

上記表の灰色の部分

ネットワークに参加しているすべてのコンピューターと異なる、2～254の値を設定してください。
この場合、他の機器と同じIPアドレスにならないように、200～250の範囲内でIPアドレスを選択することをおすすめします。（例えば、本製品のIPアドレスを192.168.123.250に割り当てます。）
詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書をご確認いただくか、またはルーター提供元にお問い合わせください。

補足

本製品のIPアドレス設定方法は、⇒9ページ「BRAdmin Lightで設定する」を参照してください。

5. ドライバーの再インストールをする

現在の設定を有効にするために、ドライバーのインストールを行います。すでにインストールが完了している場合は、アンインストールが必要です。

補足

Macintoshの場合は、アンインストールは不要です。

アンインストール方法

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［HL-2270DW LAN］を選び、［アンインストール］をクリックします。
後の操作は画面の指示に従ってください。

8章

付録

仕様

プリントサーバー

有線LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-8200h	
対応オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional Edition/ XP Professional x64 Edition/ Windows Vista® およびWindows® 7 Windows Server® 2003/ 2003 x64 Edition/ 2008/ 2008 R2 Mac OS X 10.4.11以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMP、WebServices（Print）、LLTD responder
	TCP/IP：IPv6※1	NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMPv6、WebServices（Print）、LLTD responder
ネットワークタイプ	10/100BASE-TX イーサネット	
ネットワークのセキュリティ	POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、 Windows Vista®、Windows® 7 TCP/IP印刷 Mac OS X 10.4.11以降 Macintosh印刷	
管理ユーティリティ	BRAdmin Light※2 BRAdmin Professional※3 BRPrint Auditor ソフトウェア※4 ウェブブラウザー	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

※2　高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））から最新のBRAdmin Professionalをダウンロードして使用してください。

※3　BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。Windows®でのみ使用できます。

※4　USBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を、BRAdmin Professionalから管理できます。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

無線LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-7800w	
対応オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional Edition/ XP Professional x64 Edition/ Windows Vista® およびWindows® 7 Windows Server® 2003/ 2003 x64 Edition/ 2008/ 2008 R2 Mac OS X 10.4.11以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、 WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、 LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、 IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP Server、 TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMP、 WebServices（Print）、LLTD responder
	TCP/IP：IPv6※1	NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、 LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、 SNMPv1/v2c、HTTP Server、TFTP Client and Server、 SMTP Client、ICMPv6、WebServices（Print）、 LLTD responder
ネットワークタイプ	IEEE802.11b/gワイヤレス	
周波数	2400～2497MHz	
RFチャンネル	802.11b（1-14）、802.11g（1-13）	
接続モード	アドホックモード（802.11bのみ）、インフラストラクチャーモード	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度） （数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）	
ネットワークのセキュリティ	POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP、WEP 64/128bit、WPA-PSK（TKIP、AES）、 WPA2-PSK（AES）	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、 Windows® 7 TCP/IP印刷、 Mac OS X 10.4.11以降 Macintosh印刷	
簡単設定	AOSS™, WPS（Wi-Fi Protected Setup）	
管理ユーティリティ	BRAdmin Light※2 BRAdmin Professional※3 BRPrint Auditor ソフトウェア※4 ウェブブラウザー	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

※2　高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））から最新のBRAdmin Professionalをダウンロードして使用してください。

※3　BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。Windows®でのみ使用できます。

※4　USBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を、BRAdmin Professionalから管理できます。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

索　引